

おんぼろ

北海道

乙部町

Otobe Town

土砂崩れからの復旧、 支援の輪を広げて



乙部町

6月初旬に発生した土砂崩れで
大きな被害を受けた北海道檜山管内乙部町。
約半年が経過した現在も
国道229号（館浦～烏山）の通行止めが続き、
住民生活や経済活動に大きな影響を与えています。
一丸となって土砂崩れからの復旧、
生活再建に取り組む住民、地域関係者に話を聞きました。

国道229号 乙部町館浦被災状況
(乙部町職員6/6撮影)

Otobe Town

|01| 国道229号、通行止め続く

乙部町館浦の国道229号、海岸沿いに切り立つ崖の一部が崩落し、現場付近の上下線約1.8kmの区間が通行止めとなり、約半年が経ちました。函館開発建設部からは、技術検討会の結果として現道を用いた応急対策は危険であることが報告され、未だ本復旧の見通しは立っていません。約17.4kmの地域内迂回（うかい）路の通行を余儀なくされている地元住民は交通手段・安全の確保や、救急医療・消防活動の維持を懸念。観光や産業への影響も出ており、早期復旧を願う声が高まっています。

「車で10分程度だった通勤時間が30分以上かかってしまう」。元和地区の特別養護老人ホームに勤める介護福祉士の田中加代子さんは表情を曇らせませす。迂回路を通して町中心部へ通院するお年寄りも多く、田中さんは「行き来に時間もお金もかかり、不便な生活が続いている。一番の心配事は、救急や消防など緊急車両の現場到着の時間ロス。通行止めが人命を左右しかねない。少しでも生活への影響を減らせるような取り組みをお願いしたい」と話します。



介護福祉士
田中 加代子さん

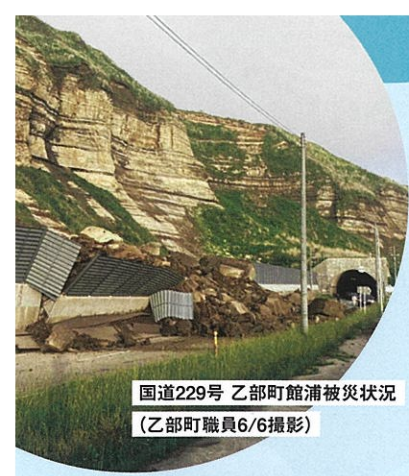
Otobe Town

|02| 住民主導の乗合タクシー発進

おとべハイヤーの代表を務めるタクシードライバーの松原敦さんは「迂回路には乗用車のすれ違いがやっという道幅の箇所もあり、プロでも運転は骨が折れる」と住民の苦勞を代弁します。「6月から続く交通の不便を精神的負担に感じている住民も多い。影響は、通勤や通学、買い物などの日常行動に加え、流通、医療など広範に及んでいると感じる」と松原さん。「ただ、嘆いてばかりでもしかたがない。今、町のためにやれることをやろう」と、町とタッグを組んで10月からデマンド型乗合タクシーの運行を開始しました。利用者の予約に応じて運行され、乗合とすることで、低料金で利用できる交通サービス。国道の通行止めによる生活交通の影響が大きい地区の路線を用意しました。松原さんは「特に通院や買い物に利用する高齢者の皆さんから好評を得ている。『これまで通りの生活ができて安心している』という声を聞けるのが何よりうれしい」と笑顔で話します。



おとべハイヤー 代表
松原 敦さん



Otobe Town

|03| 北海道・乙部町の魅力を知って

寺島努乙部町長は「国や道など関係者と一体となり、一刻も早く町民が普通の生活に戻れるよう対策を強力に推進していく」と力を込めます。乙部町は、国や道と連携して、被災地を避けて迂回路としての使用が長期化する町道、道道を国道229号に編入、冬季の除雪や路面管理に加え、急勾配部や交差点での凍結防止剤の重点散布、防雪柵の設置、町道と道道の巻き込み部の拡幅、携帯電話の不感地帯の解消などの実施を決定しました。また「生活にかかわる事柄から最優先に復旧を進める」という方針から、デマンド型乗合タクシーの運行や役場の臨時窓口の設置、全町民対象の「交通支援プレミアム商品券」の発行・販売、災害による経済的損失の大きい事業者を対象とした助成金の交付や融資制度の実施など、住民に寄り添った町独自事業も進めています。「コロナ禍も重なる中で、町民の苦境にもへこたれず前を向く姿が希望だと思っている。地域一丸となって、地道に着実に一歩ずつ復旧・再建に努めていきたい」。



乙部町長
寺島 努さん



Otobe Town

|04| 地域の再生、一歩ずつ

「豊かな自然と地域の人情が乙部町の魅力」と寺島町長。「息をのむほど美しい海岸線の夕日、ふとした時に感じる風の匂いや自然の息吹。そういった、この土地にしかない空気感がある。都会とは時間の流れが変わったかのような感覚を味わってほしい。水が最高においしい町だから、もちろん食べ物もおいしい。地元の商品やもてなしの心を知ってもらい、一人ひとりにいい思い出を持って帰ってもらいたい。絶対に損はさせません」と熱く語ります。

町では、ふるさと納税を通じて復旧・再建の支援を呼び掛けています。集まった寄付は今回の災害対応にあてる方針。同町の担当者は「返礼品で乙部を身近に感じてもらえたら、ぜひ一度乙部町にも足を運んでほしい。ふるさと納税だけでなく、この記事をきっかけに町の現状を知って、関心を持ってもらうだけでも町民にとって励みとなる」と話しました。



みなさまからの
応援に感謝を込めて

北海道・乙部町 ふるさと寄附 返礼品

ご紹介の返礼品はほんの一例です。
海産物、農産物、ワイン・クラフトビールなど、
豊かな自然に囲まれ、良質な水に恵まれた
乙部町ならではの特産品を
ご用意しております。



クラフトビール
町民が「生命の水」と呼ぶ湧き水で作ったクラフトビール。
「のどごしがいい」「香り豊かで飲みやすい」と注目を集める

さば本来のうま味を生かし、塩のみで仕上げたこだわりのさば水煮缶。返礼品のダントツ1番人気!



さば水煮缶

ふるさと寄附の返礼品はこちらのWEBサイトで詳しく紹介しています!

●URLを直接入力してアクセス

<https://otobe-furusato.jp>

●QRコードからアクセス

お使いの携帯電話にQRコード読み取り機能がある場合、右のQRコードを読み取るだけでURLが表示されます。アドレス入力をしなくても手軽にアクセスできます。



また、こちらのWEBサイトでもご紹介しております。

海と山、豊かな自然に囲まれ、
ゆったりとした時間が流れるまち、
北海道・乙部町を応援ください。



応援メッセージも
お待ちしております!

「1日も早い復旧を!」「遠く離れた町からも応援しています!」。復旧に取り組む乙部町民の皆さんに激励・応援のメッセージを、下記のメールアドレスで募集します。いただいたメッセージの一部は、町ホームページにてご紹介させていただきます。
kikaku@town.otobe.lg.jp (締め切り 2021年12月30日)

